

9 商業

科目名	簿記	単位数	4	学年	第1学年	科 コース	総合ビジネス科
使用教科書	実教出版「新簿記」			副教材			

学習の到達目標

1. 企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基本的なしくみについて理解し、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力を育てる。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	第1編 簿記の基本 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	簿記の意味、目的、貸借対照表、損益計算書の作成。 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算にいたる簿記一巡の手続きの基本的な流れについて理解させる。 取引の仕訳に関しては、二面性と仕訳の方法について理解させる。
	5	第3章 収益・費用と損益計算書 中間テスト	
	6	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳	
	7	期末テスト	
二 学 期	9	第7章 試算表 第8章 精算表 第9章 決算	決算に関しては、計算表の作成方法と決算整理を伴わない決算手続きを習得させる。 現金過不足・当座預金・当座借越・現金出納帳・当座預金出納帳 小口現金・小口現金出納帳 商品の仕入、売上及び返品値引きなどの基本的な取引の記帳について理解させる。3分法・仕入帳・売上帳・商品有高 手形の振り出し、受け取りなどの基本的な手形に関する記帳について理解させる。
	10	第2編 取引の記帳（その1） 第10章 現金・預金などの取引	
	11	中間テスト 第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引	
	12	第13章 手形の取引 期末テスト	
三 学 期	1	第14章 有価証券の取引 第15章 その他の債権債務の取引	有価証券の取得と売却の記帳。 その他の債権債務については、未収金、未払金、前払金 前受金等を扱い特質に応じた処理方法を習得させる。 固定資産の意味と種類。 個人企業の資本を増加、減少させる取引について習得させる。 個人企業の税金 消費税
	2	第16章 固定資産の取引 第17章 個人企業の資本の記帳 第18章 販売費及び一般管理費と税金の取引	
	3	学年末テスト	

学習評価

1. 定期試験・検定結果・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。